

4. 東アジアにおける中間財貿易の実態

(1) 中間財の貿易マトリックス

本資料掲載の貿易マトリックスは、輸出データをもとにした「輸出マトリックス」と、輸入データをもとにした「輸入マトリックス」がある。

マトリックス作成の元となった貿易統計が、東アジア 10 カ国・地域と米国に限っているため、貿易マトリックスは、矩形の形をしている。

すなわち、「輸出マトリックス」は、輸出国サイドが 11 国・地域であるのに対し、輸出先は世界各国に広がっている。

反対に、「輸入マトリックス」は、輸入国サイドが 11 国・地域であるのに対し、輸入先は世界各国に広がっている。

(2) 表の見方

次の表は「自動車用エンジン」の「輸出マトリックス」(2003 年)の表の一部である。用紙のサイズの都合で、列(表頭)に輸出国、行(表側)に輸入国となるように製表している。

したがって、2 列目の「Japan」は日本の輸出を示し、1 行目の「World」は輸出先の合計を示す。このため、1 行・2 列目の数字「2,593.3」は、日本の自動車エンジン輸出額の合計が 25 億 9,330 万ドルであることがわかる。

EXPORT FROM IMPORT TO							
	EAST ASIA (10)	Japan	EAST ASIA (9)	China + Hong Kong	China	Hong Kong	Hong Kong (Re-Export)
WORLD	3,132.3	2,593.3	539.0	301.6	297.2	4.3	4.3
ASIA	708.6	457.5	251.0	73.0	71.4	1.6	1.6
EAST ASIA (16)	672.0	429.1	242.9	68.5	67.0	1.6	1.6
Japan	44.5		44.5	0.2	0.2	-	-
China + Hong Kong	279.6	253.6	26.0	1.8	0.7	1.1	1.1
China	272.9	247.8	25.1	1.1		1.1	1.1
Hong Kong	6.7	5.8	0.8	0.7	0.7		
Macau	0.0	0.0	0.0	0.0	-	0.0	0.0
South Korea	9.9	7.8	2.1	0.1	0.1	-	-
Taiwan	47.5	23.8	23.8	2.5	2.5	0.0	0.0
ASEAN (10)	290.4	143.8	146.6	63.9	63.4	0.4	0.4
ASEAN (5)	241.1	129.0	112.1	38.7	38.4	0.4	0.4
Indonesia	31.8	3.3	28.5	19.8	19.7	0.1	0.1
Malaysia	54.3	15.9	38.4	9.7	9.5	0.2	0.2

(3) 品目

マトリックスを作成した品目数は、総額を含め 52 品目である。

それらの品目の一覧と品目分類の定義は、統計編 3 項(「商品分類の定義」)に掲載した。

対象とした品目の選定に対する考え方は、次のとおりである。

「中間財」全体を示す分類を作成していない。個々の具体的品目を例示的に選んでいる。

当研究所が作成している「ITI 財別貿易マトリックス」の品目分類を活かすため、そこで定義している品目の細目として位置づけている
各国の貿易統計分類が共通の定義となる HS(統一関税分類)の4桁ないし6桁レベルでの分類にしている。

機械機器の部分品および付属品(「部品」)を、できるだけ詳細に分けることにした。
音響機器部品、映像機器部品など主な機器ごとに部品(「機器部品」)の貿易がわかるようにした。

機械機器以外の品目では、拡大する機械機器貿易と関連性が高いと思われる品目に注目し、その貿易実態が分かるようにした。

例えば、ポリカボネート、塩化ビニール、ポリエチレンなどのプラスチック類。
東アジアの経済発展に伴い貿易量が急増し、東アジアの貿易を理解するうえで重要と思われる「古紙」、「鉄鋼のスクラップ」などの原材料、「原油」等の鉱物性燃料を加えている。

(4) 額評価

原資料の貿易統計の価額評価を使用している。「輸出マトリックス」の金額は、FOB 価額表示、「輸入マトリックス」の金額は、米国を除き CIF 価額である。

価額の単位は、100 万ドルである。

掲載してある表は、輸出額ベース財別表、輸入額ベース財別表ともにそれぞれ 52 項目である。